救急外来からのお願い

救急外来は救命救急を最優先としています

- 24時間、年中無休での初期診療を行っておりますが、通常の外来診療を24時間365日行っている訳ではありません。通常の外来診療との違いをご理解いただきますようお願いします。
- 救急外来は休日や夜間に発症した患者さまを通常の外来診療時間になるまで待たせて手遅れにしないためにあります。
- 治療は応急処置が中心のため、翌日かかりつけで受診していただくことになります。

診察の順番は緊急度順です

- 外来診療と異なり、緊急度が優先されますので、軽症や非緊急の患者さまはお待ちいただく場合もあります。

必ず来院前に一度お電話でお問い合わせください

- 緊急に受診すべきか判断に悩んだ時は、お電話でご相談ください。症状により、緊急性がないと判断した場合には、翌日の外来診療時間までのご自宅での過ごし方を指導させていただきます。
- 他の患者さまの救急処置等で診察まで長時間お待ちいただくことや、受付を一時中断させていただく場合があります。
- 当院での治療が困難と判断した場合、他の医療機関をご紹介させていただくこともあります。

外来診療時間以外で、救急外来を受診される時のお願い

- 専門科の医師が不在の時はお受けできない場合や、専門外の医師が診察させていただく場合もあります。
- お薬の処方は、原則1日分のみとなります。
- 夜間、深夜、休日加算がありますので通常の外来診療の診察料より高くなりますのでご了承ください。
- せき、嘔吐、下痢、インフルエンザ、ノロウイルス、発疹等の感染症が疑われる場合は申し出てください。また、マスクの着用をお願いいたします。
- 保険証、診察券（当院受診歴のある方）をご持参の上、ご来院ください。

IMS（イムス）グループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMS（イムス）グループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ〔メールフォーム〕よりお問い合わせください。

FREE **0800-800-1632**（イムスに）
※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

☎ **03-3989-1141**（代表）
受付時間／平日8:30～17:30　土曜日8:30～12:30（日祝・年末年始休み）

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMS（イムス）グループの最新情報をご覧いただけます。

http://www.ims.gr.jp/gscenter/

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11　オーク池袋ビルディング8F

皆さまの声を聞かせてください！

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内インフォメーションカウンターに設置のご意見箱まで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX：049-274-7016　E-mail：renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院　広報誌
Plaza ims（プラザイムス）Vol.30　2014.3
発行／イムス三芳総合病院　広報委員会
発行日／2014年3月
〒354－0041埼玉県入間郡三芳町藤久保974-3
医療法人社団明芳会　イムス三芳総合病院
TEL049-258-2323
http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/

IMSグループ　広報誌　プラザイムス

イムス三芳総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

＊新任医師のご紹介＊

内科医師　櫻井　紳一（さくらいしんいち）
＜資　格＞
日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医

初めまして。本年１月から着任させていただいた、内科の櫻井と申します。

はや、定年間近?の卒後３１年目にして迎えた新しい職場ですが、初心を忘れずに日々、患者さんと向き合い、自分ができることで微力ながらも、地域医療に貢献していければ幸いです。

本来の専門は、内分泌代謝科、つまり、甲状腺・糖尿病・高血圧・高脂血症等ですが、総合内科専門医として、内科全般を広く担当させていただきます。

至らぬ点はご指摘をいただきながら、今後、お付き合いをよろしくお願い申し上げます。

普段の生活で発生する
アタマジラミ

アタマジラミは、不潔・不衛生とは直接関係なく、ごく普通の生活の中で発生します。例えば、子どもたちが普段の生活で頭をくっつけて遊んだり、タオルや帽子を共用することにより、誰にでも寄生することがあります。また、季節を問わず発生し、保育園、幼稚園、小学校で集団発生することがあります。

病気としては怖くありません。おもな症状は『かゆみ』です。特に、保育園～小学校低学年のお子さまで、自分でうまくシャンプーができないことで発生している場合が多く、ご両親がしっかりシャンプーすることで予防することができます。
もし発生してしまったら、ドラックストアで売っているスミスリンシャンプーや専用櫛を使って駆除してください。卵は残るため、約10日は頭を観察し、いなくなったことを自分たちで判断せず、病院で診断を受けてください。

駆除法（スミスリンシャンプーを使う場合）

十分に泡を洗い流した後、リンスをつかって専用櫛で除去します。
※髪を梳くのに時間がかかります。風邪予防のため、入浴ではなく頭髪だけ洗うようにしてください。

① 髪を濡らす。
② スミスリンシャンプーを髪の毛に全体（髪の毛の生え際、耳の後ろ側、襟足まで）に、いきわたるようにシャンプーする。
③ シャンプー後5分間洗い流さないでおく。
④ 5分後、髪を十分に濯ぐ。
⑤ リンスと専用櫛を使って卵を除去する。
リンスをすることで髪がとかしやすくなり、かつ髪の長い子でも絡まりにくくなる。梳かすときは根元から後方にと一方向に、少しずつ丁寧に行い、卵を除去する。
⑥ 髪を濯ぎドライヤーで乾かす。
⑦ その後卵の残りを確認する。

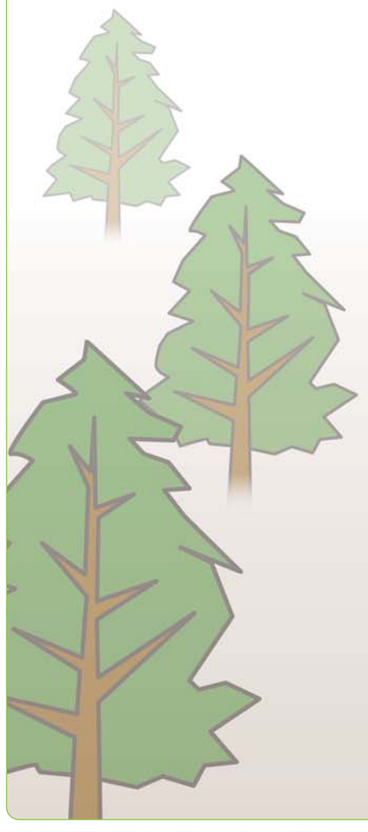
以上を1日1回、3日間隔で3～4回行います。

※卵はスミスリンシャンプーで駆除できません。櫛で物理的に駆除してください。
※使った櫛は卵が付いていることが考えられるので、熱風のドライヤーをかけるか60℃を保ったお湯で5分以上つけて処理してください。（火傷しないよう気をつけてください）

今年の 花粉は?

2014年春のスギ・ヒノキ花粉飛散総数は、日本気象協会の調査から九州の一部地域を除き2013年を下回り、全国的に平年（過去10年平均）の35%（北陸）～119%（九州）と予測されているそうです。ただ、過去10年平均の飛散量は、10年前と比較して約2.4倍になっている地域もあったりと、近年の花粉飛散量自体はやはり増加の傾向にあるようです。
ただ来春の関東・甲信越の花粉飛散量予測は、「昨年と比べて少ない傾向になるであろう」と予想されています。

2014年春のスギ花粉飛散開始は現時点では2014年2月上旬から中旬を予測されており、花粉症に悩まされている方が非常に多くなっていて、だいたいの方は2月の終わり頃になると鼻づまりに悩まされ始め、憂鬱な気分になるのが毎年の風物詩なのかなと感じています。
そんな苦しい鼻づまりを少しでも改善できるよう今回は気軽に自宅でもできる「鼻うがい」について少しご紹介します。
「鼻うがい」とはその名のとおり鼻を洗い流すという単純な行為であり、様々な方法があるんですが･･･今回は、様々ある中の一つで当院の職員も実施している方法をご紹介します。※「鼻うがい」をする際の注意点は**赤字**にて記載していますのでよくお読みください。



鼻うがいの方法

① 小さめの洗面器にぬるま湯を2ℓほど入れます。冷水だと刺激が強いので避けてください。2ℓがどれくらいかわからない方は2ℓペットボトルの空き容器に一度はかり取ると簡単です。
② 小さじすりきり4杯の塩を入れて手でかき回して溶かします。これで生理食塩水に近い濃度になるので鼻に流し込んでも刺激が少なくてすみます。もしこれで刺激が強いようなら塩を調節してください。個人的な感覚ですが、これで「ツーン」とする方は少し塩を多めにすると良いと思います。
③ 片方の鼻を指でふさぎ、顔を下に向けて鼻を水面につけてゆっくりと吸い込みます。鼻の中を通って口の中に入ってくるので吐き出します。**この時に顔を上げないでください。顔を下に向けるのは、口に流れてきた塩水を飲み込まないためと、耳のほうに流れないようにするためです。これを繰り返します。**
④ 終わったらティッシュを鼻に当て、静かに呼吸をして鼻の中の水が流れ出るのを待ちます。**この時、注意をしていただきたいことは絶対に鼻を強くかまないでください。水が残っている状態で鼻を強くかんでしまいますと、鼻の中の水が耳のほうへと入る場合があり、中耳炎を起こす可能性があるためです。**

この方法を実施している職員は、花粉症のシーズンには毎日やっていたそうで、シーズンでなければ鼻が調子の悪い時にやっていたそうです。
ただ「鼻うがい」を実践する上で大切なことは、鼻を強くかまないこと、顔を上に向けないことですね。頑張って花粉症のシーズンをみなさんも乗り切りましょう。
何かあれば当院、耳鼻咽喉科にご相談ください。

監修：耳鼻咽喉科　田原　篤